



2020年

もも病害虫防除暦

JA 中野市営農センター

回数	散布日	散布時期	散布薬剤（水１００ℓ当り）		収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 (ℓ)	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水 98ℓ) スプレーオイル キンセット水和剤 80	2ℓ 100g	発芽前 開花直前	— 5回	300	せん孔細菌病 縮葉病 カイガラムシ類 ハダニ類	①キンセットに代えて、石灰硫黄合剤の10倍（発芽前）でもよい。 ＊石灰硫黄合剤は隣接するハウスピニールにかからないようにする。 ②ウメシロカイガラムシ 発生園は、アブロードフロアブルの 1,000 倍(14 日前、3 回)を加用する。ただし、石灰硫黄合剤とは混用できない。 ③せん孔細菌病 発生園は、開花 7 日前にキンセット水和剤 80 の 1,000 倍(開花直前まで、但し収穫 60 日前まで、5 回以内)を特別散布する。
2	月 日	開花直前	アビオンE IC ボルドー412	100mℓ 3. 3kg	—	—	350	せん孔細菌病	*せん孔細菌病対策 開花期～6月まで、枝病斑の除去を徹底する。 ①展葉後のボルドー散布は薬害を生じるため、散布時期を厳守する。 ②IC ボルドー412に代えて 4－12 式ボルドー液でもよい。 ③せん孔細菌病 発生園は、開花直前～6 月の散布まで、展着剤にアビオンE の 1,000 倍（固着性展着剤）を使用する。 ④アブラムシ類発生園はウララ DF2,000 倍（14 日前、2 回）を加用する ⑤うどんこ病 発生園は、落花直後の散布にコロナフロアブルの 500 倍を加用する。 ⑥アグレプト水和剤、アグリマイシン-100 等の使用回数は、合計で 2 回までとする。尚、ぶどうにかかると種無し果を生じるため、飛散しないよう注意する。
3	月 日	落花直後	展着剤 サムコルフロアブル 10 トレノックスフロアブル アグレプト水和剤	10mℓ 20mℓ 200mℓ 100g	前日 7 日前 60 日前	2回 5回 2回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ ハマキムシ類	
4	月 日	5月中旬 (前回から 10 日後)	展着剤 モスピラン顆粒水溶剤 ストロビードライフロアブル アグレプト水和剤	10mℓ 25g 50g 100g	前日 前日 60 日前	3回 3回 2回		400	せん孔細菌病 黒星病・灰星病 うどんこ病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類
5	月 日	5月下旬 (前回から 10 日後)	展着剤 トレノックスフロアブル ハチハチフロアブル マイコシールド	10mℓ 200mℓ 50mℓ 66g	7 日前 前日 21 日前	5回 2回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病・灰星病 モモハモグリガ アブラムシ類	①シンクイムシ類(カメムシ類) 発生園は、ハチハチフロアブルに代えて、サイハロン水和剤の 2,000 倍（7 日前、3 回）を使用する。 ②うどんこ病 発生園は、5 月下旬の散布にコロナフロアブルの 500 倍を加用する。
6	月 日	6月上旬 (前回から 10 日後)	展着剤 アルバリン顆粒水溶剤 トレノックスフロアブル マイコシールド	10mℓ 50g 200mℓ 66g	前日 7 日前 21 日前	3回 5回 5回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	③カイガラムシ類 発生園は、コルト顆粒水和剤の 2,000 倍（前日、3 回）を加用する。
特別散布		6月中旬	マイコシールド	66g	21 日前	5回	500	せん孔細菌病	せん孔細菌病 多発園は、前回散布から 7～10 日後にこの散布を行う
7	月 日	6月中下旬	展着剤 トレノックスフロアブル ダーズバンDF マイコシールド	10mℓ 200mℓ 33g 66g	7 日前 14 日前 21 日前	5回 5回 5回	600	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 ウメシロカイガラムシ	①カメムシ類 発生園はスミチオン水和剤 40 の 1,000 倍（3 日前、6 回）を加用する。
8	月 日	7月上旬	展着剤 ナリアWDG イカズチWDG	10mℓ 50g 66g	前日 前日	2回 5回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類	①晩生種で、せん孔細菌病 発生園は、マイコシールドの 1,500 倍（21 日前、5 回）を加用する。＊収穫前規制に注意する。 ②ナリア WDG はぶどう（ピオーネ、サニールージュ）、西洋梨ル・レクチェに薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。 ③ハダニ類 発生園はコロマイト乳剤の 1,000 倍（7 日前、1 回）を加用する。
9	月 日	7月中下旬 あかつき等 最終防除	展着剤 ダニゲッターフロアブル オンリーワンフロアブル エクシレルSE	10mℓ 50mℓ 50mℓ 20mℓ	前日 前日 前日	1回 3回 3回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ ケムシ類、ハダニ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①ダニゲッターフロアブルは、「シャインマスカット」や「開花期の水稲」に薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。 ②ダニゲッターフロアブルに代えて、ダニコングフロアブルの 2,000 倍（前日、1 回）を使用してもよい。
10	月 日	8月上旬 なつっこ等 最終防除	展着剤 フルーツセイバー アーデントフロアブル	10mℓ 50mℓ 50mℓ	前日 前日	3回 3回		灰星病、黒星病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①カイガラムシ類 発生園は、除袋後の散布にコルト顆粒水和剤の 2,000 倍（前日、3 回）を加用する。
11	月 日	8月中下旬 川中島白桃等 最終防除	展着剤 アルバリン顆粒水溶剤 オーシャインフロアブル	10mℓ 50g 50mℓ	前日 前日	3回 3回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病 モモハモグリガ アブラムシ類 シンクイムシ類	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①ミカンキロアザミウマ 発生園は、ディアナ WDG の 10,000 倍（前日、2 回）を加用する。
12	月 日	9月上旬 極晩生種 最終防除	展着剤 ベルコートフロアブル	10mℓ 50mℓ	前日	3回		灰星病、黒星病 ホモプシス腐敗病	★有袋品種は除袋後に散布する。 ①シンクイムシ類 発生園は、アーデントフロアブルの 2,000 倍（前日、3 回）を加用する。
13 14 15	月 日	収穫後 9月上中旬 ～ 3 回散布	アビオンE IC ボルドー412 スミチオン乳剤	100mℓ 3. 3kg 100mℓ	— — 3 日前	— — 6 回	600	せん孔細菌病 モモハモグリガ ナシヒメシンクイ ハマキムシ類 カメムシ類	①スミチオン乳剤は、1 回目の散布のみ使用する。 ②IC ボルドー412に代えて、ムッシュボルドーDF の 500 倍（開花前まで）を使用してもよい。 ③コスカシバ 発生園は、ラビキラー乳剤 200 倍（休眠期、1 回）を樹幹及び主枝に十分散布する。

当防除暦の複製・コピーを禁止します